



2020 RACE REPORT

ピレスーパー耐久シリーズ2020 第1戦

富士 SUPER TEC 24 時間レース

#52 埼玉トヨペット Green Brave クラウン RS

2020年9月4日(木) ~ 6日(日)

富士スピードウェイ(静岡県小山町)

■ラスト 1 時間の大逆転！ クラウン RS のデビューウィン達成■

スーパー耐久の第1戦、富士24時間レースが開催された。予選日(金曜日)の天候は晴。Aドライバー、服部選手はアタック中にABSのトラブルが発生し3位(1分55秒280)。Bドライバー、吉田広樹選手はトップタイム(1分53秒483)をマーク。合算タイム3分48秒763で予選2位につけた。Cドライバー、川合選手は2位、Dドライバー、平沼選手は決勝を見据えた走行を行い4位。

決勝スタート時(土曜日)の天候は晴だが、雨の予報が出ている。チームはクラウンRSのテストを含むこれまでの走行時間が5時間に満たない状況を考慮し、1人1時間半を1スティントとする走行プランを作った。スタートドライバーは1年3ヶ月ぶりの公式レース出場となる平沼選手。平沼選手はマシンを労りながら4位を走行するが、試練はいきなり訪れる。16時半頃、43周目に平沼選手がピットインのためにピットロードに進入した際、エンジンが停止するトラブルが発生。ピット手前でストップしてしまう。日勤担当の店舗メカニックも駆けつけ、再始動成功。ピットで服部選手に交代し、コースに復帰するが、ほぼ同時に雨が降ってきたため、レインタイヤ交換のため再度ピットイン。トップから2周遅れとなる(順位は4位のまま)。服部選手は約1時間走行し、吉田選手に交代。追い上げたい吉田選手だが、コースは土砂降りとなり18時3分にSC導入。すぐに赤旗中断となる。

レースが再開されたのは4時間半後の22時半。SC先導により76周目からリスタート。吉田選手は翌周にピットイン。決勝レース中に義務付けされているメンテナンスタイム(10分間)を消化する。夜勤担当の店舗メカニックたちが、目にもとまらぬ早さでブレーキローターやブレーキパッドなどを交換。川合選手が乗り込み、10分経過後にピットアウトする。川合選手は2時間以上の走行を担当し、日付が変わった1時前の129周目にピットイン。平沼選手にバトンを託す。天候は一般道での運転もはばかれるほどの大雨。しかし、平沼選手は難コンディションの中、マシンを巧みにコントロール。ライバルにひけをとらないペースでダブルスティントを走破。トップ3との差を詰めることに成功する。

SC先導中の3時50分頃、平沼選手は193周目にピットイン。服部選手に交代し、3位と同一周回の4位でコースに復帰する。その後、服部選手は約2時間、さらに吉田選手はダブルスティントを担当し、朝を迎える。7時半を過ぎた275周目に3位に浮上し、2位と同一周回まで挽回する。さらに吉田選手からバトンを受けた川合選手もダブルスティントを担当。10時を過ぎた344周目に2位に浮上し、トップと1周差まで追い上げる。11時過ぎの372周目、服部選手に交代。さらにラスト2時間弱となった419周目、アンカー吉田選手にマシンを託す。トップの#15フェアレディZとは同一周回になっており、最後のピットインが勝負の分かれ目。先にピットに入ったのは吉田選手で、続けて#15フェアレディZもピットイン。吉田選手は給油のみでピットアウトするが、#15フェアレディZに何らかのトラブルが発生しており、ピットアウトできない。460周目、ついに吉田選手がトップへ。吉田選手は残り1時間を慎重に走り切り、歓喜のチェッカー。

クラウンのデビューウィン、そして川合選手のデビュー戦3冠を達成した立役者は、最も難しいコンディションの中、3時間の激走を見せた平沼選手、そして平沼選手を支えた3人のプロドライバーを含む全スタッフだろう。

決勝結果 (ST-3クラス)

#52 埼玉トヨペット Green Brave クラウン RS
(服部尚貴/吉田広樹/川合孝汰/平沼貴之)

決勝: 1位(488周、24時間02分23秒972)

予選: 2位(合算タイム3分48秒763、21番グリッド)



DRIVERS VOICE

【服部尚貴選手】

ありがとうございます！本当にビックリしました。長いレースでしたが、良かったです。最初トラブルがあったのですが、それを克服できたので大丈夫でした。これで川合が全部のデビューレースをとりました。すごいですよね。クラウンのデビューウィンという、うちらも思っていないような結果になり、良かったです。最高です！

【吉田広樹選手】

優勝を目指していたのですが、このレースはそんな簡単じゃないのはわかっていましたので本当に良かったです。トラブルとかタイヤ交換とか、いろいろ裏目に出ることが多かったのですが、長いレースなので、その逆もあると信じて前向きにやれました。その結果がこれかなと思います。途中の中断は難しかったです。そこはプロなので、集中してできたと思います。

【川合孝汰選手】

まさか開幕戦の24時間で勝るとは思っていなかったので、非常にうれしいです。落ち着いてきたのでとれたのかなと思います。今日は喜びたいと思いますけど、来週もレースなので、引き続き応援をよろしくお願いします。まだまだ改善点はありますが、今後チームと相談して、次戦でも勝っていけるように、頑張りたいと思います。

【平沼貴之選手】

お客様の前で表彰式に参加できうれしいです。天候が変わって難しいレースでしたが、勝つことができ、良かったです。3時間のダブルステイントをフルに走らせてもらいました。雨脚が強く、難しかったです。大きなミスをするこなく走りきることができました。ぼくのステイントの時、トップと1周差ぐらいまで挽回することができました。貢献できたことのひとつだと思います。

Mechanic VOICE

【ふじみ野支店・吉野裕紀】

サインボードを担当しました。タイム計測をして、クルマが来るタイミングに合わせてサインボードを出さないといけないので、ドライバーが見やすい位置で出せるように努力しました。チームの中で役割分担がしっかり区切られているので、それをこなすのが大変でした。チーム一丸で目標を達成するという点は、店舗でも同じことが言えると思うので勉強になります。

ST-3 クラス決勝結果

| 順位 | 車名(車両) | 周回数 |
|----|---------------------------------------|-------|
| 1位 | 埼玉トヨペット Green Brave クラウン RS(トヨタ クラウン) | 488 周 |
| 2位 | 5ZIGEN WINMAX RC350 TWS(レクサス RC350) | 486 周 |
| 3位 | 岡部自動車 RECARO フェアレディ Z(ニッサン フェアレディ Z) | 483 周 |
| 4位 | QUEEN EYES 34Z(ニッサン フェアレディ Z) | 365 周 |

出走 4 台

ST-3 クラスポイントランキング

| 順位 | ゼッケン | チーム名 | ポイント |
|----|------|-------------------------|------|
| 1位 | 68 | 埼玉トヨペット Green Brave | 45 |
| 2位 | 39 | TRACY SPORTS | 35 |
| 3位 | 15 | OKABEJIDOSHA motorsport | 29 |
| 4位 | 244 | Max Racing | 23 |

PARTNERS



赤城車体工業株式会社



アルパインマーケティング株式会社



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・J P



株式会社クールホールディングス



埼群スリーボンド株式会社



埼玉トヨペット陸送株式会社



三和広告社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション

株式会社トイファクトリー
インターナショナル

株式会社ドーム

株式会社トヨタカスタマイジング
& ディベロップメント

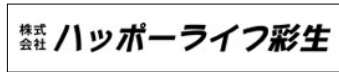
トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社トヨタホーム東京



株式会社トヨタレンタリース新埼玉



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



株式会社プロモーション



丸和工業

【第2戦】10月10日~11日 スポーツランドSUGO (宮城県村田町)